

ボーリング柱状図

調査名

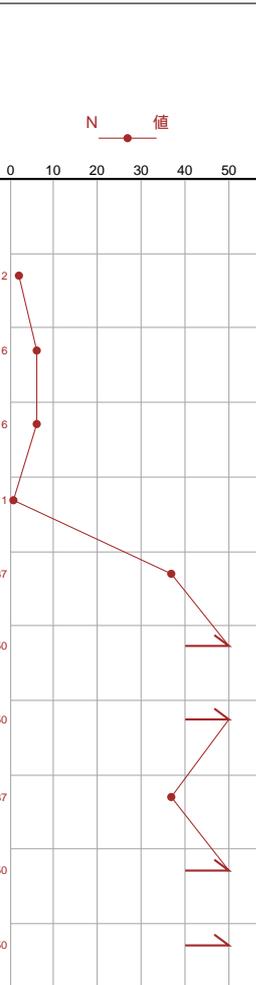
ボーリングNO.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	No.50		調査位置			北緯	36° 31' 38.0000"		
発注機関	栃木県宇都宮土木事務所				調査期間	2008-08-08 ~ 2008-10-06		東経	139° 55' 13.0000"
調査業者名				主任技師	現場代理人	コ	ア	ボーリング責任者	
孔口標高	100.36 m	角度			地盤勾配	鉛直	0°	使用機種	ハンマー 落下用具
総掘進長	10.44 m							エンジン	ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10				
99.66	0.70	0.70		盛土	黒褐			黒ボクが主体。礫・廃棄物が混じる。											
98.66	1.00	1.70		黒ボク (Kb)	黒褐			植物根が混じる。腐植質に富む。											
				ロ・ム	褐			含水量・粘着性は中位である。軽石・炭化物が混じる。3m付近は砂分が多い。											
97.06	1.60	3.30		軽石 (Pm)	黄褐			2-7mm程度の多孔質の粒子である。含水量が高位である。											
95.96	1.10	4.40		ロ・ム	褐			粘着性は高位である。粘土質である。											
95.16	0.80	5.20		粘土混じり砂礫 (GS-C)	暗褐灰			2-75mm程度の円礫・亜円礫が主体。100-200mm程度の玉石がまばらに点在する。礫間は粘土混じり粗砂で充填される。7.8-8.4m付近は緩く、孔壁が崩壊する。		08/21 5.25									
89.92	5.24	10.44																	



現場透水試験
2.06E-03cm/s